

令和4年第11回

北広島市教育委員会会議録

日時：令和4年9月2日（金）
16時00分～16時40分
場所：市役所3階会議室

○目 次

開会宣言	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
日程第1	会議録署名委員の指名・・・・・・・・	1
日程第2	会議録の署名・・・・・・・・	1
日程第3	教育長報告・・・・・・・・	1～2
日程第4	報告第1号 教育行政報告について・・・・・・・・	2～3
	報告第2号 教育長の臨時代理に係る報告について【非公開】・・・・・・・・	3～4
	議案第1号 北広島市図書館協議会委員の任命について【非公開】・・・・・・・・	4～5
	議案第2号 令和4年度北広島市スポーツ賞等受賞者の選考について【非公開】・・・・・・・・	5～6
	議案第3号 令和4年度北広島市文化賞等受賞者の選考について【非公開】・・・・・・・・	6
日程第5	そ の 他 (1) 北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会について・・	6～11
	(2) 次回の教育委員会の日程について・・・・・・・・	11
閉会宣言	・・・・・・・・・・・・・・・・	11

出席者	教育長	吉 田 孝 志	説明員	教育部長	吉 田 智 樹
	教育委員 (教育長職務代理者)	大 山 秀 之		教育部理事	後 藤 章 夫
	教育委員	成 田 郁久美		教育総務課長	下 野 直 章
	教育委員	石 上 浩 子		学校教育課長	花 田 秀 樹
	教育委員	高 山 隆 二		教育支援課長	澤 井 大 輔
				社会教育課長	渡 辺 広 樹
傍聴人	なし		エコミュージアムセンター参事	丸 毛 直 樹	
			防災食育施設整備担当参事	伊 達 千 秋	
			記録員	教育総務課主任	田 中 加 奈

開会 16時00分

(議 事 の 経 過)

◎開会宣言

○吉田教育長 ただいまから、令和4年第11回教育委員会会議を開会いたします。議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第1 会議録署名委員の指名について

○吉田教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員として、高山委員を指名いたします。

○吉田教育長 日程第2に入ります前に、本日は、報告第2号及び議案第1号から第3号が教育委員会会議規則第16条第1号に該当いたしますことから、非公開とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○吉田教育長 異議なしと認め、報告第2号及び議案第1号から第3号につきましては、非公開いたします。

◎日程第2 会議録の署名

○吉田教育長 日程第2、会議録の署名についてであります。令和4年第9回の会議録につきまして、署名委員であります石上委員に本会議終了後、署名を頂きたいと思っております。

◎日程第3 教育長報告について

○吉田教育長 日程第3、教育長報告に入らせていただきます。

○吉田教育長 今回は、教育長報告として1点、報告させていただきます。

寄附についてであります。石上車輛株式会社様(代表取締役会長 石上剛様)から、子ども達の育成のため学校図書購入費として活用してほしいとの申出があり、8月29日(月)に50万円の寄附をいただいたところであります。

寄附金につきましては、令和4年第4回市議会定例会において、図書購入費寄附金として補正予

算案を提案する予定としており、議決後、有効に活用したいと考えております。

○吉田教育長 以上、教育長報告として1点、報告させていただきました。皆さんからご質問等ございますか。

(「なし」の声あり)

○吉田教育長 それでは、教育長報告につきましては、承認とさせていただきます。

◎日程第4 報告第1号 教育行政報告について

○吉田教育長 続きまして、日程第4、議事に入ります。報告第1号、教育行政報告につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○下野教育総務課長 報告第1号、教育行政報告についてであります。別冊1のとおり、市議会第3回定例会に教育行政報告を行うため、教育委員会に報告するものであります。

別冊1をご覧ください。それでは読み上げます。

令和4年第3回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

まず始めに、北海道中学校体育大会についてであります。7月22日から道内各地で開催され、本市からは全ての中学校から9競技に延べ89名の生徒が出場したところであります。

各種目競技において、それぞれが自分の持てる力を最大限に発揮したところであり、体操競技では女子個人1部において東部中学校の丹羽奏さんが2位の好成績を収めて全国大会に出場したところであります。

出場した生徒にとっては、全道・全国レベルの選手達と対戦したり、交流を深めたりするなど、貴重な体験をすることが出来たものと考えているところであります。

次に、教職員夏季特別研修についてであります。教職員の資質の向上を目的として、7月25日から7月27日の3日間、北広島市教育研究会との共催による研修会を開催したところであります。

7月25日には、Googleアプリの活用に関する研修会が行われ、市内から約80名の教職員が参加する中、全学校から1人1台端末を活用した授業実践事例の発表と交流が行われたところであります。

このほか、主体的・対話的で深い学びに関する研修、小学校外国語教育や生徒指導に関する研修などが実施されたところであり、参加した教職員の資質向上はもとより、研修の成果が各学校において有効に生かされることを期待しているところであります。

次に、適正規模・適正配置検討事業についてであります。西部中学校区、広葉中学校区、緑陽中学校区を対象に、保護者とは7月に集合形式、8月にはオンライン形式により、また、地域の方とは8月に集合形式により、それぞれ意見交換会を開催し、ご意見をいただいたところであります。

また、北広島市立学校適正配置等審議会につきましては、8月30日に第2回審議会を開催し、

本市の特性を踏まえた市立学校の配置について、議論を深めたところであります。

引き続き、保護者や地域と丁寧に議論を積み重ねながら、より良い教育環境づくりに取り組んでまいりたいと考えているところであります。

次に、幼保小連携推進事業についてであります。市内の保育所及び認定こども園3施設の協力を得て、小学校・幼稚園・認定子ども園の教員が実際の保育の様子を参観し、情報交流を行う「保育園参観研修」を8月2日、4日、8日の3日間、開催したところであります。

参加した小学校教員からは、保育所における子どもの育ちの姿等を学ぶ貴重な機会になった、また、幼稚園等の教員からは市内における幼児教育施設との横の連携を深める機会になったとの意見をいただいたところであり、成長の連続性に配慮した教育の質の向上につながったものと考えているところであります。

引き続き、幼児教育から小学校教育への学びの連続性や切れ目のない支援の充実に向け、幼児教育施設との一層の連携を深めた取組を進めてまいりたいと考えているところであります。

次に、キッズスポーツフェスティバルについてであります。8月7日に北広島市総合体育館において、北海道日本ハムファイターズとの共催により開催したところであります。

当日は、約700名の参加者のもと、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、ファイターズアカデミーによる野球やダンスのレクチャー、eスポーツの体験会などが行われたところであり、だれもがスポーツに親しむ機会の創出や、スポーツの新領域への挑戦につながったものと考えているところであります。

次に、寒地稲作成功150周年記念プレ事業についてであります。7月に実施した旧島松駅通所ライトアップ事業において、かつての「行在所神社」の社殿を公開するとともに、9月3日には、まちを好きになる市民大学OB会の協力を得て、旧島松駅通所のほか近郊の駅通所等を巡り、明治開拓期の歴史を学ぶバスツアーを実施したところであります。

また、次年度の150周年に向け、市民有志による記念事業準備委員会や庁内関係部署と連携し、検討を進めているところであります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。

以上であります。

○吉田教育長 ただいまの報告第1号、教育行政報告につきまして、ご質疑等ございますか。

(「なし」の声あり)

○吉田教育長 それでは、報告第1号につきましては、承認とさせていただきます。

○報告第2号 教育長の臨時代理に係る報告について【非公開】

【非公開案件の審議等の結果】

原案どおり可決した。(質疑等省略)

○議案第1号 北広島市図書館協議会委員の任命について【非公開】

【非公開案件の審議等の結果】

原案どおり可決した。（質疑等省略）

○議案第2号 令和4年度北広島市スポーツ賞等受賞者の選考について【非公開】

【非公開案件の審議等の結果】

原案どおり可決した。（質疑等省略）

○議案第3号 令和4年度北広島市文化賞等受賞者の選考について【非公開】

【非公開案件の審議等の結果】

原案どおり可決した。（質疑等省略）

◎日程第5 その他

○吉田教育長 日程第5、その他につきまして、北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会について、各委員からご報告いただければと思います。

まず始めに、大山委員からお願いいたします。

○大山委員 北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会についてであります。8月23日（火）に滝川市において開催され、成田委員、石上委員、高山委員と参加してまいりました。

総会では、令和3年度会務報告、令和4年度北海道都市教育長会春季定期総会において承認されました令和3年度決算及び令和4年度予算、第73回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会帯広大会に係る開催ブロック負担金額及び余剰金発生時の取り扱いについての報告があり、議案では今後の事業計画、令和4年度役員の選出が提案され、いずれも原案のとおり承認されたところであります。

また、事例発表においては、小林広明夕張市教育委員会教育長から「豊かな交流と気軽な学びの場をつくる～笑顔とにぎわいが生まれる施設～」をテーマに講演があり、その後、分散会において

「これからの生涯学習の充実に向けて」をテーマに、他市からの参加者と意見交換を行ったところ
であります。

私が参加した分散会では、岩見沢市、帯広市、札幌市、士別市、北斗市、留萌市、釧路市の教育長
を含む教育委員の方々のグループでして、1人当たりの持ち時間はあまりなかったのですけれど、
私の方から、北広島市の生涯学習振興会の活動の特徴として、小・中学校、高校、町内会、交通安全
協会などの各種いろいろな団体等を含めた生涯学習振興会という組織を市内に4団体設けており、
独自の地域に合った企画をそれぞれ主体的に企画立案や実行をしていて、町内会になくてはならな
い活動となっているということを報告させていただきました。

また、公民館事業としての「シャベルきたひろ」についても、社会教育委員自らが「シャベルきた
ひろ」を作って企画を行うなど、市の諮問を受けて活動する機関ではなく、主体的に活動を行ってい
るという事例を報告させていただきました。その点について各市の委員の方々からは、羨ましがら
れる声が聞かれました。特に札幌市の教育長からは、1中6小学校という地域もあり、町内会の方
々に活動の協力をお願いしても、そこはうちの町内会ではないからと断られるなどといった例など、
おやじの会などといった団体が活発なところもあるのですけれども、なかなかうまくいかないところ
もあるということで、北広島市について関心を持っていただけたようでした。

その他の市の生涯学習の活動を見ても、北広島市とは違って、市が用意した企画に市民を呼んで
という形が多かったので、我々の行っている生涯学習活動は少し進んでいるのかなと改めて思いま
した。

私からは以上です。

○吉田教育長 ありがとうございます。生涯学習振興会の取組は、多分道内の中でも、考え方も取組
内容も大分形になっている方なのだと思います。

次に、成田委員お願いいたします。

○成田委員 私の参加した分散会では、旭川、函館、砂川、歌志内、釧路、稚内、深川の教育長と委員
の方と一緒にグループで、大山委員と同じように各都市の取組についての発表をして、実際に議論
をする時間はほとんど取れなかったのですけれども、私の方からは、大山委員と同じく生涯学習振
興会について、主に市民が運営しているということをご紹介させていただきました。他の委員の皆
さんたちの話題として出てきたのは、どこのまちでも、それぞれのまちの課題に応じたいろいろな
良い取組や、素晴らしい施設があったりなど、みんな頑張ってやっているのだけれども、それに来て
くれる人には良いのですけれども、それ以外の興味がない人たちにどのようにして届けるかとい
うところがやはり課題であるということと、どんなに良い取組で、良い場所があっても、その中で何を
しているかなど、市民の方自身が何を感じるかというところでその取組の意義なども変わってくる
のではないかということが。意見としてたくさん出ていました。

座長でありました旭川の教育長からは、最後の締めのご挨拶のところで、北広島の取組、生涯学習
振興会の取組がほかのまちと比べても、一歩も二歩も先を行っている感じがすること、ちょうど今、
旭川が行政主導で行っているものから市民主体に変えようということで、実行委員会がやっと立ち

上がったというところらしく、北広島の取組が非常に参考になり、本当はもっといろいろ話をしたかったというようなことを言っていました。

以上です。

○吉田教育長 多分他のまちは、まだ公民館事業という形で行っており、できあがったメニューに参加してもらうような形が多いので、北広島市と違いがあるのだということですかね。

○成田委員 はい、そのような形で活動しているのだと思います。

○吉田教育長 それが主なやり方になっているのですね。昔、北広島市も公民館事業で生涯学習アドバイザーがいて、押し花教室や読書教室を開催し、興味ある人は来てくださいという形だったのが、その地域でやりたいものを自分たちで選んで運営してもらうような、市民協働の一つのやり方になってきておりますので、その点について、他のまちは評価してくれるのは嬉しいですね。

次に、石上委員お願いいたします。

○石上委員 事例発表が夕張市の「りすた」という複合施設についての発表だったので、どこの市も施設について発表したところが多かったなという印象でした。石狩市の教育長からは、学び交流センターという老朽化した公民館を改築して、令和4年4月にできた、Wi-Fiの環境も整備されているという公民館の発表、紋別市の教育長からは、平成30年に建てられた紋別生涯学習センターについて発表があり、これは閉校となった小学校の校舎を活用されたとのことでした。また、室蘭市では平成30年12月の生涯学習センター「きらん」、砂川市では地域交流センター「ゆう」、名寄市ではとても立派な天文台の「きたすばる」という施設があるそうで、それについてとても熱く発表されており、割と新しい立派な施設がいろいろな市で建っているのだということが分かりました。

紋別市の教育長から、学校支援の拡充を目指して、地域の方に主に部活動を移行していきたいと思ったのですけれども、結局うまくいかなかったということで、北広島市と、「いしかり市民カレッジ」というものを13年間、市民自らが講座を企画しているという石狩市へ、どのように進めていったのかという質問がありまして、石狩市は北広島市のように社会教育主事というのは携わってなくて、名寄市の天文台に携わっている人も全部ボランティアで、市の社会教育主事や、町内会の方、さらに学校までも含めて一つの振興会として行っているというところは私の分科会には北広島市以外では確かになかったので、すごいという話になっていました。また、その取組はどのように進めていったのかという質問もあったので、アドバイザーを中心として行政の方からそのような形になるように持っていったという話をさせていただきました。

○吉田教育長 団地地区には振興会はないという話はしたのですか。

○石上委員 そこまではしていませんが、4つの地域に分けて行っているという話をさせていただきました。

それから、他市では「市民大学」という講座をよく行っているのですけれども、多分そのネーミングがよくないのでは、何とか大学というものでは若い層が参加しにくく、ほとんど人が来ないこともあるという話があり、「シャベルきたひろ」というネーミングは新しくて良いのではないかと、ネーミングは大事だという話もありました。

以上です。

○吉田教育長 夕張市は、学校の閉鎖や統合により、教育の拠点がなくなってきているので、あえて市役所とはまた別に、清水沢のところに新しい施設をつくって、そこに教育委員会が入っているのだと聞いたことがあります。そこに結構住民が集まってきてくれるので、施設をどのように行政として運用するかというのは大事だというのが、夕張の主張なのではないかと思うのです。なので、まちによっても、施設をどこにどうつくるかというのはそれぞれの事情や理由があったりするのかなと思います。

○吉田教育部長 石狩市は公民館が移転し、別の施設になるのですけれども、公民館にはもともと社会教育課が入っていたのですが、その施設ができることで社会教育課がそこから出ざるを得なくなって、今図書館に社会教育課が入って運営を行っているとのこと。石狩の公民館は学校の跡でとても古かったようです。

○吉田教育長 まちの事情もいろいろありますね。

最後に、高山委員お願いいたします。

○高山委員 私の分散会は、3名の教育長と6名の教育委員の計9名で構成されていました。教育長は、帯広市、室蘭市、名寄市の3名、教育委員は岩見沢市、釧路市、砂川市、千歳市、稚内市、北広島の6名で、この9名それぞれが発表したらもうほとんど終わりの時間になってしまっていて、大山委員、成田委員、石上委員がおっしゃったように、北広島市の生涯学習振興会について、とても興味を持っていただいたのですけれども、質問の時間すらないというような時間になってしまいました。ただ、その中で、行政側が準備したもの、企画したもの等を中心に行っているという各市町村からは、北広島市の住民や、いろいろな各団体が皆一緒になって、自分たちで進めているというやり方を自分たちの地域でもやりたいと思っているということで、実際に今、北広島市が進めている形とても興味があり、同じように進めていきたいという思いが伝わってきました。

そのほか、座長の室蘭市の教育長が、LGBTの関係は各市町でどうなっているか本当は質問したかったということで、室蘭市ではそのことについて課題になっていて、ご苦労されているということをお聞きしました。

分散会を通して、各市町村ではそれぞれいろいろな企画をしながら生涯学習というものを捉えて進めていることがわかりました。

以上です。

○吉田教育長 ありがとうございます。

総じて北広島市の生涯学習振興会の取組は他市町村から少し興味を持っていただいたということですね。今後視察の依頼もあるかもしれませんね。

○吉田教育部長 そうですね。これだけ教育委員の皆さんに生涯学習振興会についてPRしていただいたので、視察が来るかもしれないです。

○吉田教育長 また、教育委員の皆さんの口から振興会のことを語ってもらうというのは、良い取組になったかと思います。市民の方々に聞かれても、他のまちからの評価を知った上でお伝えすると

また違った見方ができますよね。

○吉田教育部長 市民の皆さんに生涯学習振興会と言っても、伝わらないこともあるかもしれません。例えば西の里の振興会でいうと、「まなビー」という愛称がついており、「まなビー」は分かるけれども、生涯学習振興会というとは分からないということもありえます。それから、西部では単純に「振興会」という言い方をしているので、「生涯学習振興会」というフルネームで言われると逆に分からないということもあるかもしれません。さきほどネーミングの話がありましたけれども、最初にすべての振興会につけたのですが、西の里で定着している愛称の「まなビー」のほか、東部は「東風」、大曲は「輝き」など、広報のタイトルみたいではありますけれども、親しみやすさを持つように名づけました。ただ今となっては、「まなビー」だけが愛称として残っており、そのほか「振興会」で通ってしまっています。

○成田委員 東部の「東風」は今広報誌のタイトルとして残っているかと思います。

○吉田教育部長 大曲の広報誌は何というタイトルだったでしょうか。

○渡辺社会教育課長 「かがやけ大曲」です。

○吉田教育長 せっかくの機会なので最近取組んでいる「いんくる一む」などについても話していただきたいです。

○吉田教育部長 まず、コンソーシアムについては、協議体という意味で、地域のなかで、それぞれ意見を出し合って情報共有を図りながら同じ方向に進んでいく取組む団体を地域コンソーシアムという言い方をしています。その中で今回のテーマとして、インクルーシブな社会をつくるという授業で「いんくる一む」というものを行っているのですけれども、これは健常者、障がい者、男女問わず、みんなで一緒に楽しめる授業で、障がい者スポーツ、いわゆるアダプテッドという、誰でも取組める競技を中心とした授業を行っています。それを考えてみんなでやろうと進めている協議体が地域コンソーシアムであり、このコンソーシアムの中で話し合われて、「いんくる一む」というものを行うこととし、今、月1回、中央公民館で開催しています。

○吉田教育長 「いんくる一む」は造語でしょうか。

○吉田教育部長 はい。平等な社会や、分け隔てない社会という意味のインクルーシブと、部屋のルームを掛け合わせて「いんくる一む」となっています。当市の社会教育主事がそのようなネーミングをつけるのが得意ということもありますが、さっき石上委員が言われたように、市民に対するインパクトがある、あるいは何か少し引かかるといったネーミングというのも大事なのだと思います。

○吉田教育長 「シャベルきたひろ」は大分定着して、市民にも知られるようになってきていますが、それについても名前がやはり面白いですね。

社会教育分野について今回都市教育委員会連絡協議会でも交流されたということで、学校教育だけではなく、このような社会教育の事業に触れてこられたのはよかったかなと思っています。皆さんお疲れ様でした。

それでは、北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会につきまして、全体を通してご質疑等ございますか。

(「なし」の声あり)

○吉田教育長 続きまして、事務局から、次回の教育委員会の日程について、説明をお願いいたします。

○後藤教育部理事 事務局から、次回の教育委員会の日程についてお諮りいたします。

次回第12回教育委員会会議についてであります。令和4年10月3日(月)、時間は16時00分から市役所3階会議室で開催させていただきたいと思っております。

議案としましては、令和4年度北広島市スポーツ賞、文化賞等の受賞者について等を予定しております。

なお、同日、15時00分から同会場にて、令和4年第2回総合教育会議を開催いたしますので、14時50分までにご参集いただきますようお願いいたします。

議案は、学校の適正規模・適正配置及び教職員の働き方改革についてを予定しております。

以上であります。

○吉田教育長 次回は、10月3日(金)、市役所3階会議室において、15時から総合教育会議、16時から第12回教育委員会会議を開催するということで皆さまよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎閉会宣言

○吉田教育長 以上で第11回教育委員会会議に付議された議事は全て終了いたしましたので、これにて閉会いたします。本日はご苦労さまでした。

16時40分 閉会

以上、会議を記録し、正確を期するためにここに署名する。

教 育 長

署 名 委 員
